

令和２年度 大阪体育大学浪商高等学校の学校評価(第三者評価)

日 時 令和３年８月４日(水)、１０月１２日(火)、１０月２７日(水)、１０月２９日(金)

出席者 大阪体育大学 体育学部 スポーツ教育学科長 曾根 純也
大阪体育大学 体育学部 健康・スポーツマネジメント学科長 富山 浩三
大阪体育大学浪商中学校・高等学校 元保護者会会長 小林 弘輝
大阪体育大学浪商中学校・高等学校 校長 工藤 哲士
大阪体育大学浪商中学校・高等学校 副校長 恩塚 千代
大阪体育大学浪商中学校・高等学校 教頭 濱田 倫史
大阪体育大学浪商中学校・高等学校 教頭 松田 博志
大阪体育大学浪商中学校・高等学校 事務長 岸本 雅彦
大阪体育大学浪商中学校・高等学校 入試対策室室長 外畑 拓哉
大阪体育大学浪商中学校・高等学校 主幹教諭 福光 聖美

１ 学校評価及び学校診断アンケートの結果報告

「令和２年度取り組み内容及び達成状況（2020）」「項目別比較」「コース別比較」「学年別比較」「共通項目別比較」、さらに生徒、保護者、教職員の「学校診断アンケート（コース別、学年別）」の資料やグラフに基づき詳細な説明を行った。

２ 第三者評価について(学校関係者評価を中心に)

１）目指す学校像は「中長期目標」に掲げる①「智・徳・体を修め社会に奉仕する」建学の精神を再確認し、生徒一人ひとりに豊かな心を身につけさせる ②個々の伸長及び夢や希望進路を実現 ③地域社会から信頼される学校 ④浪商ブランドの確立。上記①～④を具体的な「重点目標」に設定している。

２）重点目標の設定は、進学とスポーツの２本柱として浪商ブランドを確立させることを基本として、①学習活動の充実、②部活動成果を第一義にあげている。次に生徒の希望進路実現のために、③進学マネジメントシステムの構築、④進学実績の向上、⑤中高一貫体制の確立を重点目標に設定している。また一人ひとりに豊かな心を身につけさせるために、⑥規律・規範の確立と自主性の伸長、⑦人権教育・安全教育の充実などをあげ、中長期目標に沿った具体的な重点目標の設定と取り組みが行われていると評価できる。

３）上記の重点目標①～⑦の具体的項目毎に、令和２年度の「具体的取り組み内容とその達成状況」を５段階（S、A～D）で学校関係者による評価が示されている。その学校

関係者評価と対応して、令和 2 年度の「今後の課題と取り組み」も表記されている。
また今年度の特徴(過去 3 年間との比較)、項目別比較、学年別比較、コース別比較、
アンケート対象者別比較、様々な観点から検証を行うとともに項目別の検討課題を抽出し、
具体的対策まで明確に示されている。

以上の観点から「令和 2 年度取り組み内容及び達成状況 (2020)」の資料を統括して、貴校の
学校評価への取り組みは適切なものであると評価できる。